



研究テーマ **電力と生活のデザイン**

目的・概要 東京電力株式会社は、社会や人々の生活に直結した社会のシステムやインフラを担い、人々の生活をより良くするという点で、大きな責任と力を有している。電力会社として、商品である「電気」と共に、「人々の生活」をより良くするために供給できる「何か」を、デザインを学ぶ学生の視点で捉え提案して欲しい、という依頼に対し、東京電力からの情報やアドバイス、学生自らの生活体験等をもとに、「何か」に対してのコンセプトの立案とアイデア展開を進めた。

各自の個別アイデアを分類、整理し、5のアイデアに集約・検証・ブラッシュアップ・プレゼンテーション・評価を行った。さらに、5のアイデアを3に絞り込み、修正・改良を加え、成果発表として、東京電力本社での最終プレゼンテーションをおこなった。

このプロジェクトをとおして、参加学生は、デザインプロセス・デザインコスト意識・コンセプトワークの重要性・プレゼンテーション方法を体得しデザイン能力自己評価の訓練ができた。

又、東京電力にとっても、電気事業の今後の指針や可能性を可視化したものであり、長期展望として、また、ユーザーニーズの理解の一端として非常に有益であったと、高い評価を得ることができた。

期間 2007年8月～2008年3月

委託者 東京電力株式会社

研究体制 授業課題導入→プロジェクト型

担当 デザイン科 製品デザイン専攻：村井光謹 教授
製品デザイン専攻3年：
浅井有麻、伊藤健介、井上悠生、猪岡晴香、岡田篤人、荻下直樹、折笠弦、加藤修也、
上野舞子、木下宏祐、堂本夏菜、内藤彩佳、中島あゆみ、中富さやか、中村恵美、
奈須田友也、林愛子、峰友美、宮本真位、山之内崇、山本武紗士

PROCESS

2007.8.2	プロジェクト説明・オリエンテーション コンセプト立案・アイデア展開
2007.10.1～10.4	アイデアの評価(分類と集約)
2007.10.12	中間プレゼンテーション(学内)
2007.10.12～11.16	アイデアの絞り込みと、修正・改良
2007.11.26	成果発表(最終プレゼンテーション)

中間プレゼンテーション

個別アイデアの分類を行い、5つのアイデアに整理・集約し、検証、展開、ブラッシュアップ後、東京電力参加のもと、学内プレゼンテーションと評価を行った。



アイデアの絞り込みと修正・改良

中間プレゼンテーションした5つのアイデアを、さらに3つのアイデアに絞り込み、修正改良を加えた。



成果発表 (最終プレゼンテーション)

東京電力本社(東京・新橋)でのプレゼンテーションに参加学生全員で行った。



「e-port」

電力量計と分電盤のデジタル化と、2つの機能を統合することで、東京電力とユーザーの「新たなつながり(ネットワーク)」が生み出せる提案。



「じもっと」

電力会社が提供する無線メッシュ・ネットワークを利用した「地域コミュニケーション」あり方とその専用デバイスの提案



「concept consent」

今ある身近な問題点を解決し、電気と美しくつながる「コンセントの新しいあり方」の提案

